

地下空洞 ウレタンで修復

一気に充填
発泡・硬化
アップコンが新工法

【川崎】アップコンは道路の陥没事故につ

なかりかねない地下の大規模な空洞を、高強度の発泡ウレタン樹脂を充填して修復させる

工法を開発した。続けざまに多くの量を吐出しても、焦げ付きや発煙の心配が少ない特殊

なウレタン樹脂を使って、大きな空洞を一気に埋める。空洞が給油所のガソリンタンク並みの大きさでも、ウレタンを連続して注入でき、道路を開削して修復させる通常の工法より、工期を短縮できると見込んでいる。

空洞に高強度のウレタン樹脂を充填し、発泡・硬化させて安定させる。ウレタンを続け多く吐出すると熱がたまり、焦げ付きなどの問題を起しやすいが、新工法のため開発したウレタンには熱を抑える特性があり、大きな空洞にも一気に短

時間で充填できる。

同社は道路にできた段差を、ウレタンが発泡・硬化する力で補修する工事を手がけてきた。この工事に使うウレタンは約2時間で硬化し、国の要求基準を上回る強度を示す。今回開発したウレタンの実証データはまだないが、硬化の速さや強度は従来のウレタンと同等以上になり、工期短縮につながると期待している。

1日から仙台市宮城野区の「夢メッセみやぎ」で開かれる建設技術の見本市「EJ東北」で公開する。